

A-24 食餌中タンパク質レベルおよび飢餓
の血清タンパク質，トランスアミナーゼ，
アルカリ性フォスファターゼ
活性に及ぼす影響

日本女大家政 ○野崎 幸久
青島 郁子

1. 栄養障害の血清タンパク質およびトランスアミナーゼ(GOT)，アルカリ性フォスファターゼ(A-P)に及ぼす影響をみるために，今回は飢餓時および食餌中のタンパク質レベルを変えた場合の変動を追求した。

2. 実験動物はラットを用い，食餌はカゼイン 0, 5, 20, 30%のものは2週間，飢餓は5日間飼育した。血清総タンパク量はビューレット法，その分画はセルローズアセテート膜電気泳動法，GOTはReitman-Frankel法，A-PはKind-ting法によって測定した。

3. 血清総タンパク量はカゼイン5%群，30%群，飢餓群で減少した。タンパク分画でも影響がみられた。

血清GOTは飢餓群のみ上昇し，肝GOTには著変がなかった。A-Pは血清では5%群，飢餓群で低下し，肝では30%群，飢餓群で減少した。しかしこれらの酵素活性の変化は，四塩化炭素障害肝，胆道結紮の際の変動に比べると僅かであった。